



2016年度CSR活動報告書

2017年5月 株式会社エコスタイル



エコスタイル
—子供たちの未来にエコ電力—®

MESSAGE

はじめに

「子供たちのため、次世代のために環境を守る義務と責任を遂行する」という使命の下、弊社は2015年度にCSR基本方針を策定いたしました。本活動報告書は弊社の取り組みをご報告する2回目の取り組みです。昨年度以上に社会に貢献できるよう、そしてより良い取り組みに繋がるよう、活動を公開させていただきますので、ご意見、ご指導をいただけましたら幸いです。

社長メッセージ

弊社は「持続可能な社会」の実現を目指し、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギー電源の開発や、少額から出資できる再生可能エネルギーファンドの組成・募集を展開し、再生可能エネルギーを次世代に残す取り組みを行って参りました。また、日本において再生可能エネルギーの普及を推し進めた固定価格買取制度（FIT制度）は縮小傾向にありますが、2016年4月から電力小売をスタートし、FIT制度にとって代わる様な再生可能エネルギーを普及する仕組み作りにも力を入れております。

再生可能エネルギーが地球温暖化といった環境問題解決のために不可欠だということは世界的にも周知の事実ですが、だからと言って「再エネ普及は世界的な問題」「私たちの暮らしから遠い話」ということでは決してありません。例えば、日本の地域で再生可能エネルギーを活用した「エネルギーの自給自足モデル」を構築すると、災害などで送配電網が遮断されてしまったとしても、再生可能エネルギー発電所を非常用電源として用いることができるようになります。地震大国である日本において、それぞれの地域で地域資源を活用してエネルギーを作る仕組みを築くことは重要な課題です。

エコスタイルはエネルギーの分野から、日本が抱える、そして世界が抱える課題に挑戦し続けます。

株式会社エコスタイル

代表取締役社長 木下 公貴



CSR活動における基本方針

『持続可能な社会』の実現に向け、「再生可能エネルギーの普及・促進」「環境教育」「ダイバーシティの推進」を基本方針として定めました。これらを実行することで私たちの社会的責任を果たし、持続的な企業価値向上に努めて参ります。

再生可能エネルギーの普及・促進

エコスタイルは、永続的に利用できる再生可能エネルギーを普及・促進させることで、次世代のために環境を守る義務と責任を遂行いたします。また、地域資源を生かした再生可能エネルギー発電所により、地域の更なる発展に繋がる取り組みを行います。



環境教育

エコスタイルは、事業活動を通じて獲得した再生可能エネルギーや環境に関する様々な知見を子供たちに伝え、広く社会と地球環境に貢献できる次世代を育成します。



ダイバーシティの推進

エコスタイルは、健全な職場環境の整備とともに多様な人材の採用・育成・登用を行い、様々な価値観を取り入れることで新たな課題にチャレンジし、お客様に満足いただける価値を創造します。



再生可能エネルギーの普及・促進

2016年度の施工実績

エコスタイルの2016年度の太陽光発電所の施工実績は65.9MW。これは・・・

- ▶ 昼間帯の22,000世帯あまりの年間電力消費を賄う発電容量です。



- ▶ 二酸化炭素(CO2)年間削減量は約6,500t-CO2/kWhです。

スキの木で換算すると、約260万本分の削減効果に匹敵します。



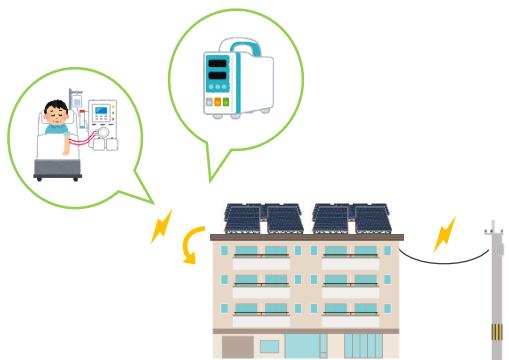
「エネルギーの自給自足モデル」の構築に向けて

エネルギーの自給自足モデルとは「それぞれの地域資源を活用して発電し、発電した電気をその地域で消費する」という仕組みです。地域の中で資源と資金を循環させることができ、さらには災害などにより送配電網が遮断されてしまったとしても、再生可能エネルギー発電所を非常用電源として用いることができる所以、災害直後の活動拠点としての役割を果たします。

エコスタイルはこのモデルを実現するため、再生可能エネルギー発電所の開発と発電所の設置地域における電力供給を行っています。また、『太陽でんき®』などの展開を通じてノウハウを蓄積しています。

〈太陽でんき®〉

病院・福祉施設や工場などに太陽光発電システムを設置し、発電した電気を施設で使い、足りない分だけ購入する、という仕組みです。気象予報士の資格を持つスタッフが開発した、AI（人工知能）を活用する予測技術を用いて、気象データを基に太陽光発電予測および電力需要予測を自動的に行います。



環境教育

「子供たちのため、次世代のために環境を守る義務と責任を遂行する」という使命を達成するために、より多くの子供たちに自然との共栄の重要性を伝えることができる環境教育プログラムを実施しました。

第16回エデュケーションチャレンジ

(実施時期：2016年7月26日　主催：(株)日本経済新聞社)

社会の第一線で働く企業人が先生となり、自らの仕事を題材に成功までの苦労や失敗も含めてリアルに語る授業を行うキャリア教育プログラムで、全国の高校生284名が参加しました。3回目の参画となるエコスタイルの講義テーマは「ベンチャースピリッツを磨け！」。地域固有の資源を活用して電気を供給し「エネルギーの地産地消・自給自足」に取り組んでいる電力事業の展開において、再生可能エネルギーを商材にして事業化するまでの困難と、成功に至った秘訣を語りました。

(参考 - <http://adnet.nikkei.co.jp/a/edu/>)

ドリカムスクール

(実施時期：2017年1月18日・25日、3月2日　主催：NPO法人JAE)

JAEとエコスタイルが協同し、大阪市内の中学生1学年4クラス（144名）を訪問して実施しました。子供たちは企画の仕事を疑似体験し、最終日にはプレゼンテーションを行います。「ユニークで環境にやさしい発電方法を提案しよう！」という課題を与え、理科や社会だけでは学ぶことの出来ない学びの場を提供することができました。

また、学校を訪問して行う初の取り組みでしたが、参加した社員も子供たちのユニークで柔軟な発想に刺激を受けることが出来ました。

(参考 - <http://www.jae.or.jp/company/csr/>)





環境教育

パワー・オブ・イノベーション2017

(実施時期: 2017年3月20日~22日 主催: (株)教育と探求社)

全国から集まった中学生・高校生・高専生が社会課題を解決していく、3日間の合宿型プロジェクトで、117名が参加しました。子供たちは企業人から現代社会の課題について話を聞き、その課題を解決するアイデアを考え、最終日には、企業人や参加者の前でプレゼンテーションを行い「グランプリ」の獲得を目指します。

今回、エコスタイルが提示した「すべての人に真の豊かさをもたらす、再生可能エネルギー最適化プランを提案せよ」というミッションに臨んでくれた子供たちは28名です。難しい内容ではありましたが、参加した子供たちから「3日間、頭をフル回転させて取り組めてとても楽しかった」といった声をいただきました。

(参考 - <http://powerofi.jp/>)

ダイバーシティの推進

社内制度の導入

社員同士が良い刺激を与えあい、やりがいを感じて働く職場環境づくりを進めるために、社員の“頑張り”や“功績”を表彰する「MVP表彰制度」や、日々の業務における社員一人ひとりの気づきを吸い上げる「社員提案制度」を導入いたしました。

また、社員同士がより良い関係を築くことを目的とした「部活動制度」もスタートし、既に4つの部活動が発足しています。運動系の部活動だけでなく、地元球団を応援するといったユニークな活動も承認されています。

今後の取り組み

2016年度同様、事業活動を通じた「再生可能エネルギーの普及・促進」に加え、自治体と協力して地域電力を展開し、その地域での「環境教育」に取り組んで参ります。

また、2017年度は健康状態やライフイベントによる影響を特に受けやすい女性の活躍推進にも力を入れて取り組み、引いては社員全員がより安心して働く職場環境を整備します。

会社概要

会社名	株式会社エコスタイル
会社設立	2001年（平成16年）10月5日
資本金	505百万円
代表取締役社長	木下 公貴（きのした まさたか）
従業員数	322名 ※2017年（平成29年）4月1日時点
東京本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 丸の内永楽ビルディング20階
大阪本社	〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町1丁目4番6号 ミフネ道修町ビル3階
事業内容	産業用太陽光発電システム販売・施工・メンテナンス 家庭用太陽光発電システム販売・施工・メンテナンス 電力小売事業 再生可能エネルギー発電事業 再生可能エネルギーファンド組成募集事業 損害保険代理業務
売上高	13,697百万円 ※2017年（平成29年）3月期
加盟会員	省エネルギーセンター 賛助会員 グリーンエネルギーパートナーシップ 賛助会員 自然エネルギー協議会 準会員 日経BP環境経営フォーラム 特別会員 宅地建物取引業協会 会員 全国宅地建物取引業保証協会 会員 不動産流通機構 会員 第二種金融商品取引業協会 会員 日本卸電力取引所取引 会員 電力広域の運営推進機関取引 会員 大阪商工会議所 会員 東京商工会議所 会員



お問い合わせ先

株式会社エコスタイル (担当部署: 経営企画室)

所在地: 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町1丁目4番6号

メール: kikaku@eco-st.co.jp

URL: <http://www.eco-st.co.jp/>

